



# 東広島市地域共生社会推進計画

東広島市成年後見制度利用促進計画

東広島市再犯防止推進計画

(第4次東広島市地域福祉計画)

誰もが学び合い、支え合い、感謝し合える

「シアエル関係」を築き、

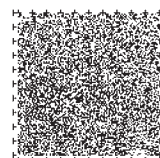
幸せを実感できるまちへ

東広島市

令和7年(2025)年3月



この冊子には、目の不自由な方への情報提供を目的に音声コードを貼付しています。専用の読み上げ装置やスマートフォンアプリ等で読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。



## この計画をつくった背景

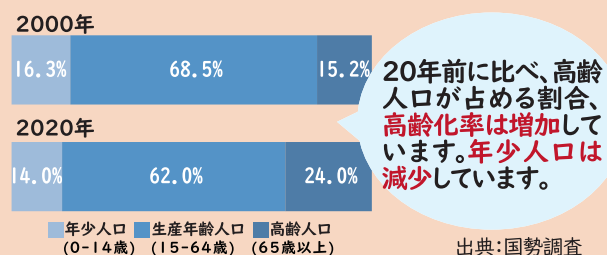
我が国では、超高齢化や核家族化、単身世帯の増加といった人口構造の変化に加え、地域のつながりの希薄化なども同時に進んでいます。そのことにより、誰にも「助けて」が言えない、気軽に相談できる人がいない、地域に居場所がないなどの孤独・孤立の問題や、支援制度やサービスだけでは充実した生活にならない、いわゆる「制度の狭間」に陥っているような方も多くなっています。

こうした現状や課題を踏まえ、東広島市では、社会福祉協議会や関係機関、住民自治協議会や民生委員児童委員、市民活動団体などの多様な主体と連携・協働し、**市民一人ひとりのWell-being（幸福感）が増大できるような「地域共生社会」の実現**を目指し、本計画を策定しました。

この冊子を通じて、広く「地域共生社会」の理念を共有し、市民の皆さまとよりよいまちづくりを進めていきたいと思ひます。

## データから見る東広島市

### 人口構成の推移



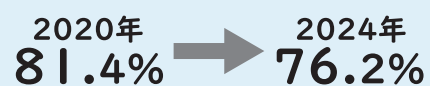
### 1世帯当たりの平均人数

20年前に比べ、**1世帯当たりの人数は減少**しています。



### 支え合い・助け合いの意識

自主的な支え合い・助け合いを「とても必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計の推移

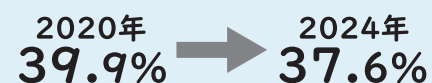


**自主的な支え・助け合いの意識は低くなっています。**

出典: 市民アンケート2024年

### 話し合いの場などへの参加希望

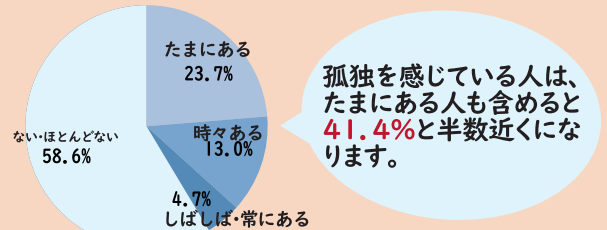
話し合いの場などへの参加希望について、「ぜひ参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計の推移



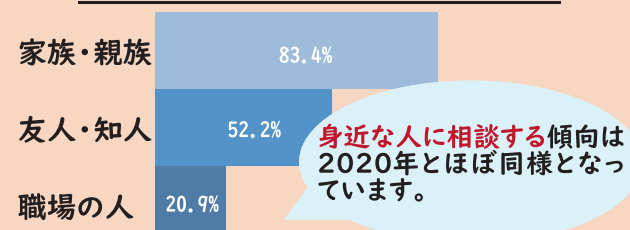
**話し合いの場などへの参加希望は低くなっています。**

出典: 市民アンケート2024年

### 孤独であると感じること



### 困ったときに相談する人



## 地域共生社会って？

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、**地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会**

### 3つの超える視点でつながろう

01

制度・分野ごとの「縦割り」を超える

地域からの孤立や生活困窮、8050問題やヤングケアラーなど、一つの世帯の中でも、複数の困りごとを抱えている場合があります。その場合、制度や分野ごとの公的支援に加え、地域コミュニティの見守りなどを含めた包括的な伴走支援が求められます。地域共生社会を作っていくためには、こうした制度や分野の縦割り、行政と市民の縦割りを超えた視点が大切です。

02

「支え手」「受け手」という関係を超える

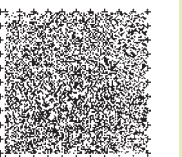
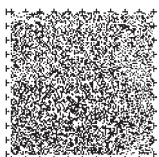
公的な支援やサービスは、サービスの提供者と利用者という関係により、その役割が「支え手」と「受け手」に固定化されています。しかし、私たちの地域では、高齢の方が介護サービスを利用しながら、子ども食堂を運営したり、登下校の見守りをしているようなこともあります。人は、ある面では地域社会を支え、別の面では制度や地域に支えられながら生きています。支えることの喜びと、支えられることの感謝が連鎖していけるよう、「支え手」「受け手」を超える視点をみんなで共有することが大切です。

03

「世代や分野」を超えてつながる

私たちの住む地域は、高齢者や障がい者、子ども、外国人などや、様々な企業・団体等により構成されています。世代や分野、背景の異なる人や団体がつながることにより、これまで見えてこなかったような課題が見えてきたり、その課題を、それぞれが持つ強みを生かしながら解決していくような動きにつながることがあります。世代や分野を超えてみんながつながっていく視点により、持続可能で、より豊かな地域社会を作っていくことが大切です。

「みんなでつながって、できること、やりたいことをやっていて、気がいたら地域共生社会になっていた。」となるのが理想かもしれません。



# 計画にはどんなことが書かれているの？

計画期間 令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)までの5年間

## 基本目標①

### 学びを通じた地域課題の「自分ゴト化」

#### 施策の方向性

- 市民一人ひとりが支え手、受け手を超えた「シアエル関係」を築くためには、まず、わたしたち自身が地域で起きている様々な問題を知り、学び、自分ゴトとして受け止めていく必要があります。
- そのため、あらゆる機会を捉えてこうした学びを促進するとともに、様々な地域課題を発見・解決・共有する仕組みを構築していきます。
- また、市民一人ひとりが地域課題を知り、自分ゴトとして受け止めていくことで、地域のさまざまな課題に興味を持ち、その興味関心から「何かをやりたい」という思いにつながるような取組みを進めていきます。

#### 施策①

「学び」や「気づき」が増える取組み

#### 施策②

「地域課題」を発見・解決・共有する仕組みづくり

#### 施策③

「やってみたい」につながるきっかけづくり

#### みんなで取組むことの例

##### 市民

地域の問題に対して興味を持ち学ぶこと、住民同士の挨拶や声かけ

##### 地域

地域の課題を話し合う場づくり、気軽に「助けて」が言い合える関係づくり

##### 企業・市民活動団体・福祉事業者等

得意分野を生かした地域課題の発見や共有、住民等への学習機会の創出

##### 社会福祉協議会

地域住民が参加できる課題発見、共有の場づくり学校等と連携した福祉教育の推進

##### 行政

人権教育や啓発の促進、大学連携による地域課題の発見・解決、DXを活用した地域課題の抽出や施策化の検討

#### 5年後の目指す姿

市民が自分のまちの課題を知り、自分ゴトと受け止め、地域活動や市民活動に興味関心を持っています。

## 目指す姿

地域住民や地域の多様な主体が世代や分野を超えてつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて、学び合い、支え合い、感謝し合えるなどの「シアエル関係」を構築することで、**市民一人ひとりが、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも満たされた「健幸」な状態(Well-being)になっています。**

## 基本目標②

### みんなの「やってみたい」を応援

#### 施策の方向性

- 「何かをやってみたい」と思っても、実際に活動するのは簡単ではありません。また、活動を継続したり、より良くしていくためには、多くの人や団体の協力が必要になることもあります。
- そのため、市民の「やってみたい」の思いが「やってみた」の行動につながるよう、また「続けたい」「もっと良くしたい」という思いに応えられるような支援をしていきます。

#### 施策①

「やってみたい」から「やってみた」につながる支援

#### 施策②

「続けたい」「もっとよくしたい」に応える支援

#### 施策③

「インフォーマル」な助け合いの促進と居場所づくり

#### みんなで取組むことの例

##### 市民

生きがいづくりや仲間づくり、災害時の助け合い市や社会福祉協議会・地域が行う行事への参加

##### 地域

子育て世代や転入者、障がい者、外国人等が地域行事に参加しやすい環境づくり、住民自治協議会などの地域コミュニティ活動の推進

##### 企業・市民活動団体・福祉事業者等

得意分野を生かした地域課題の発見や共有、住民等への学習機会の創出

##### 社会福祉協議会

地域の見守り・支え合い・居場所づくりの促進

##### 行政

地域コミュニティやテーマコミュニティの活動支援、様々な分野のサポーター確保・養成、地域人材のマッチング促進

#### 5年後の目指す姿

地域課題解決に向けて「何かをやってみたい」と思った市民が、地域の多様な主体や、市、社会福祉協議会等の応援により、活発に活動しています。

## 基本目標③

### 「誰一人取り残さない」相談支援の充実

#### 施策の方向性

- 普段の生活で困ったことがあったときに、一人で抱え込まずに気軽に相談でき、解決に向けて寄り添ってくれる人が身近にいれば、これほど心強いことはありません。
- そのため、市や社会福祉協議会をはじめとする関係機関が連携し、困っている当事者を起点とした、制度の狭間のない相談支援体制を構築するほか、地域との連携により孤独・孤立の予防や解消のための取組みを進めます。

#### 施策①

「制度の狭間」のない相談支援体制の構築

#### 施策②

「当事者」を起点とする多職種連携による支援

#### 施策③

「小さな声」を聞き逃さない支援

#### 施策④

「地域で支える」人材の発掘と育成

#### みんなで取組むことの例

#### 市民

ひきこもりや社会的孤立などの社会課題に対する理解、虐待を発見した時の情報提供、ピアサポートなど、当事者同士の助け合い

#### 地域

地域で気かけあい、小さな気づきを支援者につなぐ取組み

#### 企業・市民活動団体・福祉事業者等

ひきこもり状態にある方等の社会参加、就労への理解と協力

#### 社会福祉協議会

市や関係機関との連携による包括的な相談支援体制の充実

#### 行政

複雑化・複合化した課題を抱える世帯への支援体制の充実、各分野（高齢、障がい、子ども、生活困窮）の相談支援体制及び連携体制の充実、孤独・孤立対策の推進

#### 5年後の目指す姿

困ったときに、相談機関や身近な地域住民など、誰かに気軽に相談できる体制が整っており、問題を一人で抱え込んだり、地域から孤立したりするような市民がいません。

#### 共通する取組み

### ①あらゆる市民の権利擁護の推進

認知症や障がいに関わらず、一人ひとりの権利が守られ、住み慣れた地域で尊厳ある本人らしい暮らしを継続できるよう、成年後見制度の利用の促進や関係者ネットワーク機能強化を推進します。

### ②再犯防止の推進

犯罪や非行をした人が出所し、地域社会の一員として、復帰・再出発できるよう、地域や関係者と連携して、社会復帰を支援するとともに、関係機関・団体との連携、市への啓発を促進します。

#### 注視する指標

東広島市内における再犯者率  
令和11(2029)年 全国平均以下

## 基本目標④

### 地域で「健幸」に暮らせるための基盤づくり

#### 施策の方向性

- 生活上の困りごとを解決するためには、様々な分野のサービスが整っていることに加え、時代の変化などにより、新たに見えてきた社会課題についても対応していく必要があります。
- そのため、高齢や障がい、子ども子育てや生活困窮など、各分野におけるサービスを充実していくとともに、移動に困難を抱える方の支援や居住支援など、既存のサービスだけでは解決が困難な課題についても支援を進めていきます。

#### 施策①

「分野ごとの制度・サービス」の充実・深化

#### 施策②

「生活のしづらさ」を改善する取組みの推進

#### 施策③

「みんなにやさしいまち」の整備

#### みんなで取組むことの例

#### 市民

健康に関する正しい知識の取得、心とからだの健康づくり

#### 地域

心とからだ元気になる居場所づくり(通いの場、サロン、ゲートボールなど)、デマンド交通等の運営

#### 企業・市民活動団体・福祉事業者等

各分野における支援への協力や居場所づくり

#### 社会福祉協議会

市や関係機関との連携による各分野への支援体制の充実

#### 行政

各分野における支援のさらなる充実、健康づくりの推進、移動や住まいに関する支援の充実、ユニバーサルデザインに基づく環境整備

#### 5年後の目指す姿

市民一人ひとりが、必要なサービスを適切に利用しつつ、心身の健康だけでなく、社会的にも満たされた「健幸」な状態でいきいきと生活しています。

| 評価項目          | 目標値            |                |                 |
|---------------|----------------|----------------|-----------------|
|               | 令和5年度<br>(現状値) | 令和8年度<br>(中間値) | 令和11年度<br>(目標値) |
| 幸福感の向上<br>※1  | 47.6 ポイント      | 49.8 ポイント      | 52.0 ポイント       |
| 孤独感の低下        | 17.7%          | 16.0%          | 14.5%           |
| 健康寿命の延伸<br>※2 | 男 81.43 歳      | 81.91 歳        | 82.40 歳         |
|               | 女 85.42 歳      | 85.81 歳        | 86.20 歳         |

※1 デジタル庁 Well-being 指標による  
※2 広島県定量的指標データによる

計画全体の成果目標数値

# 東広島市の「シアエール」なまちづくり

住民主体の取組み（インフォーマル）

協働による取組み

行政主体の取組み（フォーマル）

（市全体）  
市全体

## 多様な主体

大学・学生、地元企業、  
商工会議所、商工会、  
NPO 法人、PTA、  
ボランティア団体、  
社会福祉法人、  
家族会・当事者会、  
各種サークル活動など

私達学生も町を  
つくってる！

企業もみんなと  
支えます

## テーマごとの 支援の場づくり

不登校・ひきこもり、  
子育て支援、  
フードバンク、  
多文化共生など

みんなでできることは  
なに？

学校以外の居場所が  
あってよかった

不登校の人にもちゃんと  
情報提供できると？

## 市民会議

みんなはどんなことに  
困ってる？

地域資源も含めた情報提供を  
できるようにしますね！

これはちょっと地域では  
どうにもならんけー  
新しい制度考えてもらいたいのー

「うちじゃない」ではなくて  
それぞれが出来ることを考えよう!!

## 地域共生社会推進本部

社協は  
どう思いますか？  
このような課題がありまして...

市長！これについては  
新しい制度が  
必要なのでは

市民生活に関わる庁内各部局  
産業、労働、教育、住宅、地域振興、税、  
防災・防犯、環境、交通その他様々な分野

包括的な  
相談支援体制

## HOTけん会議 支援会議

居住支援  
権利擁護支援  
健康づくり支援  
高齢者支援  
子ども子育て支援  
障がい者支援  
困窮者支援

福祉の総合調整機能

## コアネットワーク会議

（多職種連携による支援、課題共有の場）

課題の共有  
施策化の検討

## すべての 住民間の ネットワークづくり

地元のお祭りに  
参加したらたくさん  
友達ができたよ

学び・気づきを踏まえた  
まちづくり活動  
（市民協働・地域貢献など）

協働による取組みを  
通じた各団体の活性化、  
団体間のつながり促進

安心して  
子育てできる

## 地域関係者 ネットワーク協議会

うちはこうやってるな

他の所では  
どうですか？

〇〇地域では  
こうやってるらしいわ

## 地域懇談会

これはちょっと難しいね  
今度〇〇町の全体会議あるけー  
そこで聞いてみるわ

市民協働による  
地域課題解決に向けた取組み

気軽に相談

支援機関への  
つながり

困りごとですか？  
一緒に考えさせていただきます

うちの地域に猫をいっぱい  
飼ってる人がいて  
どうもなんのじや

情報共有

だれに相談したらいいか  
わからん

伴走支援

ちょっとしんどいわ、  
何か使えるサービスないじやろうか

うちの子ひきこもりで。  
どうしたらいいか心配で

（小学校圏域）  
小学校圏域

## 住民自治協議会

自分一人で解決しなくて  
いいんだよ

## 地区社協

町内会で若い人とも  
話げてきて楽しいな。  
町の伝統を伝えたい！

## 民生委員児童委員

地域を支えてくれている人が  
たくさんいるんだ

## 自治会

何が  
やってみようかな

いっしょに  
やろうや

学び・気づきを通じた  
多様な主体への参画

## 多様な居場所づくり

地域（子ども）食堂、  
多世代交流の場など

家や学校以外にも  
話せる人がいるから安心

子どもと話したら  
こっちが元気もらえるわ

町の歴史って面白い！  
もっと知りたいな

## 見守り・支え合い・ 居場所づくりの活動

お助け隊、サロン、  
通いの場など

帰りに  
寄ってみるか

〇〇さん、  
最近サロンに来んね

大きくなったな

登下校の見守りも  
みんなでできる地域づくりだね

地域課題の吸い上げ

住 民

# 私たちが地域共生社会を実現していくために

地域共生社会の実現とは、

私たちの住むまちをよりよくしていこうとする取り組みです。

私たち一人ひとりが、今の自分にできることを着実にできたらよいですね。

## ①地域で暮らす、生活をする

- 隣近所の人と会ったらあいさつをする



## ②地域や社会に関心を持つ

- 地域の活動などに自分が参加してみる
- 興味関心のあるテーマ(子育て、障がい、生活困窮、不登校、こどもの居場所...)について インターネットや本で調べる



## ③地域や社会で起きていることを深く知る

- 日々のニュースを見る、広報紙に目を通す
- 年に1回でもよいので、興味がなくても講演会やイベントに行ってみる(人権、こども子育て、認知症、ひきこもり、環境問題、多文化共生...)

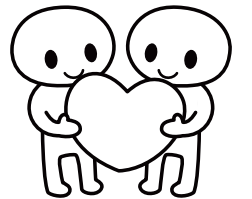
## ④活動に参加する

- イベントや講演会、地域活動などに繰り返し参加する
- 参加ができなくても、クラウドファンディング(寄付)などで応援する



## ⑤一緒に活動する

- 友人を誘う、主催者となつながら、活動に対する意見を言う
- 裏方として手伝ったり、企画時点から参加したりする



## ⑥仲間と何かを始めてみる

- 同じ志を持つ仲間や理解者、支援者と出会う
- 自分がやりたいことを見つける、新たな課題解決に挑戦する



## ⑦持続可能な活動にする

- 仲間や理解者、支援者を増やす、他の活動団体と交流する
- ソーシャルビジネスや協同労働など、活動の持続性を考える



## ⑧人材を育てる豊かな地域を創る

- 後進を育てる
- 自分が活動できることに感謝する



誰もが学び合い、支え合い、感謝し合える  
「シアエル関係」を築き、  
幸せを実感できるまちへ



感謝し合える

良い方向に変化しながら  
続けていく

支え合える

行動する  
参加してみる

興味を持つ

知る・学ぶ

知らない・無関心

地域共生社会を実現していくため、私たちが一つずつできたらよいことをイメージ図としてまとめました。

これは活動の一例です。このステップでなければならない、ということはありません。一緒に作り上げていきましょう。

# 東広島市 地域共生社会ポータルサイト

\ HIGASHIHIROSHIMA /

シア

エール

シアエールな  
ひとたち

シアエールを  
やってみた

\ 詳細はこちら /

new!  
お知らせ



相談窓口

東広島市地域共生社会推進計画（概要版）

発行：令和7年（2025年）3月

編集：東広島市健康福祉部地域共生推進課

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号

電話：（082）493-5621

ファックス：（082）423-8065

メール：hgh200932@city.higashihiroshima.lg.jp

